

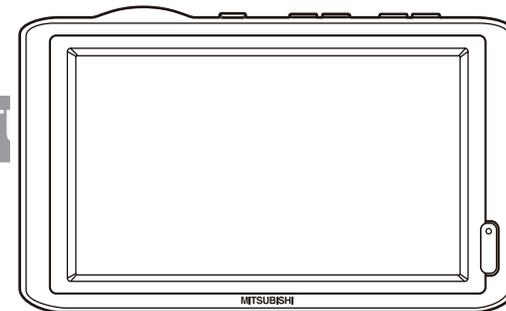
mitsubishi

HDD NAVIGATION SYSTEM
CU-H9700 series

HDD NAVIGATION SYSTEM
CU-H9700 series



TU TUNER TU TUNER TU TUNER TU TUNER TU TUNER TU TUNER



TU TUNER TU TUNER

テレビ部取扱説明書

 三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)
N871L59682 05-05

- ・この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- ・この製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」・「取付要領書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・「取扱説明書」はお読みになったあと、「保証書」・「お客様相談窓口一覧表」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。
- ・本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

もくじ

・お客さまへ安全上のご注意.....	3	リレーション機能と操作のしかた....	23
・ご注意とお願い.....	8	・リレーション（同放送局自動追尾）機能とは...	23
・本書の見かた.....	9	・リレーション機能で選局する.....	23
はじめに	10	ビデオ映像を見る.....	25
ドラコン（ドライビングリモコン）、リモコンについて...	10	・映像モードへの切り換え.....	25
・ドラコンの電池交換のしかた.....	10	画面サイズを切り換える.....	25
・リモコンの電池交換のしかた.....	10	・画面サイズ（モードの）切り換え.....	25
ドラコン（ドライビングリモコンについて）...	11	その他の機能	26
・ドラコンの操作について.....	11	後部座席用映像出力について.....	26
・キーの名称と働き.....	11	バックカメラの映像について.....	26
リモコンキーの名称と働き.....	12	画質調整	27
・リモコンの操作方法.....	13	画質（明るさ/色の濃さ/色合い/コントラスト）を調整する...27	
ディスプレイについて.....	14	・画質の調整について.....	27
・各部の名称と働き.....	14	・明るさの調整.....	27
テレビチューナーについて.....	15	・色の濃さの調整.....	28
・各部の名称と働き.....	15	・色合いの調整.....	28
操作機能一覧.....	16	・コントラスト調整.....	28
・ナビゲーションの設定について.....	17	システム設定	29
基本操作	18	照明やナビゲーションの画面モードを設定する...29	
本機の基本操作について.....	18	・システム設定について.....	29
・[ナビ/テレビ切換]スイッチの切り換え...	18	・オートディママーの設定.....	29
・電源のON/OFF.....	18	・ILL 連動照明の設定.....	30
・トランスミッター、音声出力の設定...	18	・画面モードの設定（ナビゲーション）...30	
・音声モードの切り換え.....	19	ディスプレイの操作	31
・ナビゲーションからテレビに切り替える...	20	ディスプレイ側のボタンで操作するには...31	
・テレビ画面からナビゲーション画面に切り替える...	20	・画面消しについて.....	31
・ナビゲーションの音声ガイドについて...20		困ったときは	32
テレビ/ビデオを見る	21	故障かな?と思ったら.....	32
テレビを見るには.....	21	定格.....	34
・テレビ/ビデオモードの切り換え.....	21	用語索引.....	35
・チャンネルを表示する.....	21	保証について.....	35
・選局のしかた.....	22		

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

  このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。

   このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。

 この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

運転者は運転中に、画像を注視しない。

前方不注意となり事故の原因となります。
道路交通法により、運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
※ハンドルリモコンを操作する場合も画面を注視しないでください。



禁止

運転者は走行中に複雑な操作をしない。

運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



禁止

ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があります。交通事故の原因となります。



必ず行う

運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキをかけて使用する。

テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。



必ず行う

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない。

事故、火災、感電の原因となります。



禁止

本機を分解したり、改造しない。

故障、火災、感電の原因となります。



分解禁止

本機は DC12V マイナス ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしない。

火災や故障の原因となります。



禁止

機器内部に水や異物を入れない。

発煙、発火、感電、故障の原因となります。



禁止

万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な匂いがするなど異常が起これたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店が弊社代理店に相談する。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。



必ず行う

リモコンを放置しない。

停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



禁止

ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



必ず行う

雷が鳴りだしたら、アンテナ線やテレビに触れない。

落雷により感電の原因となります。



接触禁止

⚠️ 注意

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



注意

テレビ、ディスプレイなどの収納や角度調整時に、手や指を挟まれないようにご注意ください。

けがの原因となることがあります。



指に注意

本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。

通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。



禁止

リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因となることがあります。



必ず行う

取付・配線時などのご注意

⚠️ 警告

取り付け作業前には、バッテリーのマイナス ⊖ 端子を外す。

ショート事故による感電やけがの原因となります。



必ず行う

本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故やけがの原因となります。



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機取り付けと配線をしない。

エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。



禁止

電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。



禁止

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。

誤った穴開けをすると火災の原因となります。



注意

車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用すると制動不能や発火、事故の原因となります。



禁止

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。



必ず行う

取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウインカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認する。

正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。



必ず行う

必ず、パーキングブレーキ線を接続する。(安全機能)

走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、停車状態でもサイドブレーキを引かないと映像は表示されません。



必ず行う

⚠️ 注意

落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。



必ず行う

本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。



必ず行う

必ず付属の部品を指定通り使用してください。

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。



必ず行う

取付要領書で指定された通りに接続してください。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因になることがあります。



必ず行う

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグが誤作動する原因となる場合があります。



必ず行う

本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。



必ず行う

車体やねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因になることがあります。



注意

コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。

コード類が車体の高温部に接触すると被膜が破れショートし、火災、感電の原因になることがあります。



注意

雨、水の車内への浸入を防ぐため、アンテナコードの車内への引き込みには十分気をつけて行ってください。

車内に浸水すると、火災、感電の原因になることがあります。



注意

他の機器と接続する場合は

各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくお使いください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

乾電池に関するご注意

⚠️ 警告

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。(ボタン電池)



必ず行う

⚠️ 注意

指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚染する原因となります。



禁止

電池を機器内に挿入する場合は、極性⊕・⊖に注意し、表示通りに入れてください。電池の極性を間違えると破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因になることがあります。



必ず行う

電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因になることがあります。



禁止

乾電池は充電しないでください。

電池の破裂により、けがの原因になることがあります。



禁止

アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗った後ただちに医師の治療を受けてください。



必ず行う

リチウム乾電池を廃棄する場合は、⊕・⊖端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因になることがあります。



必ず行う

携帯電話に関するご注意

⚠️ 警告

運転者は運転中に携帯電話を手にもって使用しない。

走行中に携帯電話を手にもって使用することは法律で禁止されています。また、事故の原因になります。



禁止

携帯電話を放置しない。

停車したときやカーブを曲がるときに携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



禁止

あまったコード類は運転の妨げとならないようテープなどでまとめておく。

ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。



必ず行う

ご使用になる前に、安全な場所に車を止めた状態で、着信音量、通話音量の確認を行なってください。けがの原因になることがあります。

ナビメニューのシステム設定、モニター音量の設定を行ない適度な音量にてご使用ください。音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。



必ず行う

ご注意とお願い

免責事項について

- ・火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本機に添付の保証書は当該機器を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。

携帯電話や無線機について

- ・本機の近くで携帯電話や無線機を使用すると画面が乱れたり、内蔵スピーカーからの音声にノイズが入ることがあります。携帯電話や無線機の電源を切るか、本機から遠ざけてご使用ください。

液晶画面について

本機を使用中に次のような現象が起きることがあります。

- ・液晶画面は正面からが一番きれいに見えます。画面を見る角度によって色が濃くなったり白っぽくなったりして見えることがあります。
- ・液晶画面に薄い横じまが見えたり、残像（前に映っていた像が薄く残ること）があります。
- ・液晶画面の中に小さな黒い点や白く光る点（輝点）ができることがあります。これは液晶パネル特有の現象で故障ではありません。
- ・寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- ・液晶画面に直射日光が当たると光が反射して映像が見にくくなりますので直射日光をさえぎってください。
- ・液晶画面照明に使用している小型冷陰極管には、寿命があります。（寒いところで使

用すると寿命が短くなることがあります。）画面がチラついたり、暗くなってきたときはお買い上げ店、または別紙サービス相談窓口一覧表のサービス店にご相談ください。

- ・液晶画面に付いたホコリや汚れを清掃する場合は、電源を切ってから乾いた柔らかい布で拭きとってください。
- ・液晶画面を拭くときは、ツメなどでキズつけないよう注意してください。また、ぬれたぞうきんやベンジン、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

高温検知について

- ・ディスプレイは異常高温検知機能を搭載しています。ディスプレイ内部の温度が規定以上に上昇した場合は、“高温検知です。画面を消します。”のメッセージが表示され約7秒後に自動的に画面が消えます。ディスプレイのいずれかのボタンを押すと復帰しますが繰り返し発生する場合は、以下の内容をご確認ください。

◎炎天下の直射日光によりディスプレイ本体が熱くなっていますか？



ディスプレイを涼しいところで冷却してください。

◎ディスプレイをエアコンの吹き出し口付近（熱風が吹きかかる場所）に取り付けていませんか？

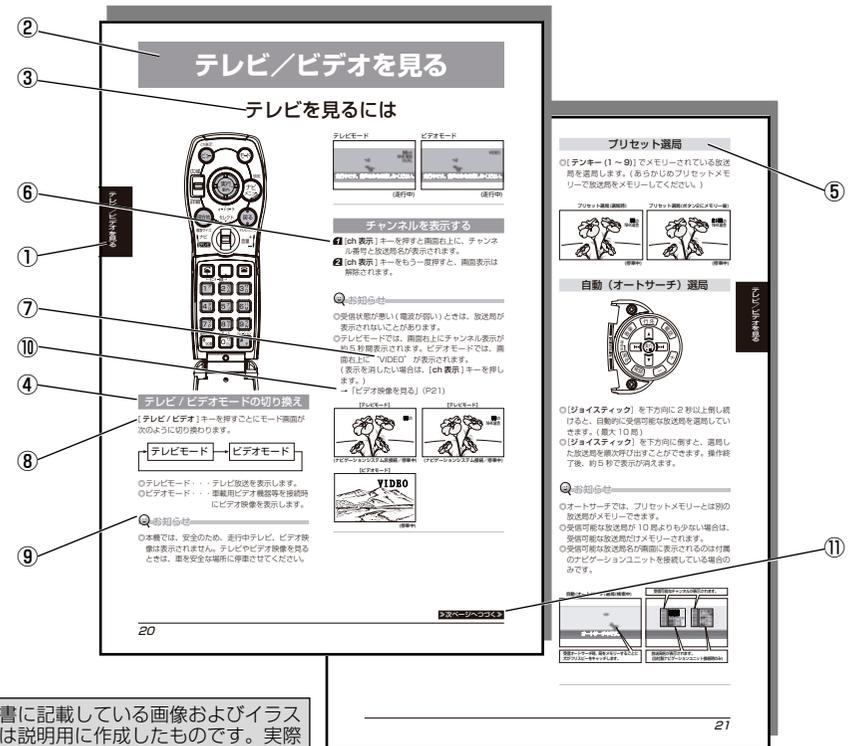


ディスプレイ取付位置を再度ご確認ください。

上記の処置で症状が改善されない場合はディスプレイの故障が考えられます。ただちに使用を中止し、お買い上げ店、または別紙サービス相談窓口一覧表のサービス店にご相談ください。

本書（テレビ部取扱説明書）の見かた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっております。また、本書では、テレビシステム（テレビチューナーおよびディスプレイ）を「本機」と記載しています。



本書に記載している画像およびイラストは説明用に作成したものです。実際の表示や印刷とは異なる場合がありますが、テレビチューナー、ディスプレイおよびナビシステムスの故障ではありません。

表記	意味
① 章インデックス	機能分類の中には各用途別に章として分類されています。各章はこのインデックスで確認することができます。
② 章見出し	各章の先頭に記載しています。
③ 大見出し	章分類の中で主な操作や機能を分類しています。
④ 中見出し	大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。
⑤ 小見出し	中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。
⑥ 1	操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。
⑦ " "	画面上に表示される選択項目を示します。
⑧ []	リモコンでの操作キーを示します。
⑨ 〻お知らせ	知っていると便利な情報や注意していただきたい点を記載しています。
⑩ →「***」(P000)	参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。
⑪ ≫次ページへつづく≫	操作の説明に続きがある場合に記載しています。

はじめに

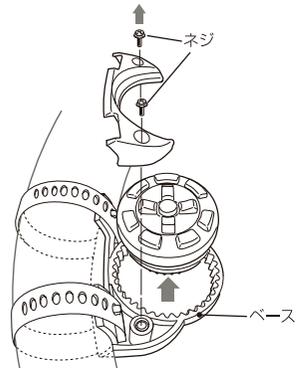
テレビ部はおもにドラコン（ドライビングリモコン）、リモコンで操作します。

ドラコン（ドライビングリモコン）、リモコンについて

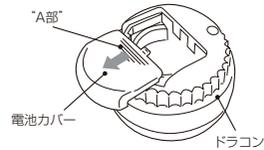
ドラコンの電池交換のしかた

■リチウム電池記載の注意事項をよくお読みになった上、下記手順で電池の交換を行ってください。

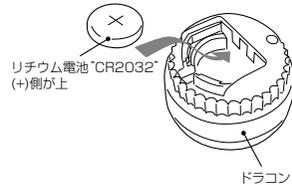
1 ベースからドラコンを外す
図に示すネジを外します。
ベースからドラコンを取り外します。



2 電池カバーを外す
ドラコンの裏面にある“A部”を少し押しながら矢印の方向にスライドさせて電池カバーを外します。



3 リチウム電池（CR2032）を入れる
新しいリチウム電池を（+）プラス、（-）マイナスの方向確認の上、リモコンに入れます。



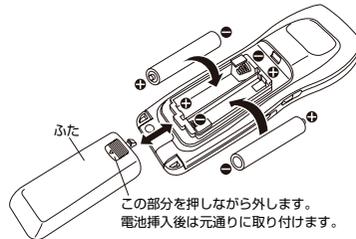
お知らせ

◎すでに電池が入っている場合は、取り出してから行ってください。
※（+）プラス側が上になるように入れてください

4 電池カバーを取り付ける
外した逆の順序で元に戻します。

リモコンの電池交換のしかた

■初めてお使いになるときは付属の乾電池（単4）2個を⊕⊖の向きに注意して入れてください。また、乾電池が消耗したときは市販の乾電池（単4）2個をお買い求めください。



お知らせ

◎リモコンの電池（乾電池、リチウム電池）は、液漏れ等の異常がないか定期的に確認してください。

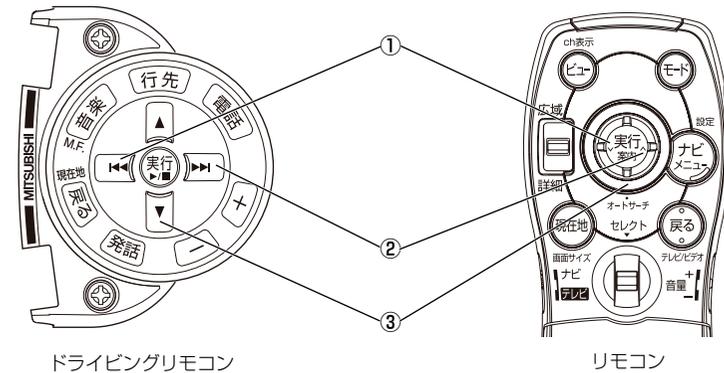
ドラコン（ドライビングリモコン）について

ドラコンの操作について

ドラコンで放送局の選局、呼び出しができます。

キーの名称と働き

ドラコンでリモコンのジョイスティックキー操作と同じ操作ができます。



*ドラコンで操作できる操作について

- ① [方向(◀▶)]キー 短く押すと手動で放送局を選局できます。(チャンネルダウン) 長く押すと自動(シーク)選局を開始します。(チャンネルダウン)
- ② [方向(▶▶)]キー 短く押すと手動で放送局を選局できます。(チャンネルアップ) 長く押すと自動(シーク)選局を開始します。(チャンネルアップ)
- ③ [方向(▼)]キー 短く押すと自動(オートサーチ)選局した放送局を順次呼び出します。 長く押すと自動(オートサーチ)選局を開始します。

記載のイラストは説明用に作成しているため、実際のリモコンの印字(一部)が省略されています。

お知らせ

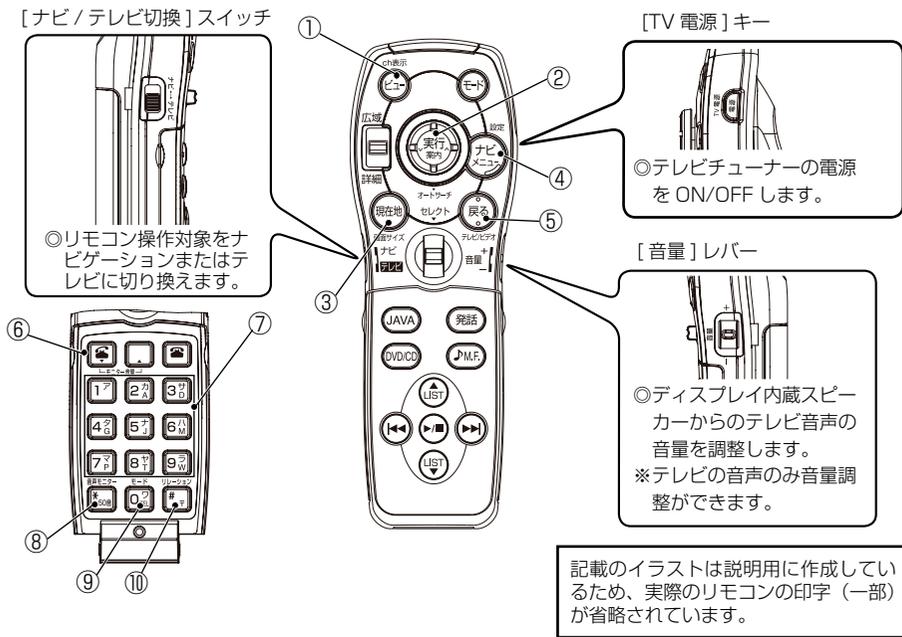
◎ナビゲーション画面で、ドライビングメニューが表示されている場合はドラコンでテレビの操作はできません。ドライビングメニューを終了させてから操作してください。

リモコンキーの名称と働き

リモコンはナビゲーションとテレビを共用で操作することができます。
ここではテレビの操作について説明します。
(ナビゲーションの操作についてはナビゲーションの取扱説明書をご参照ください。)

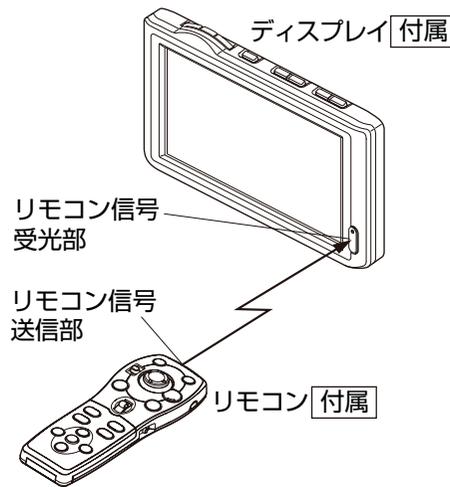
お知らせ

- ◎ テレビ / ビデオをご使用になる場合は、必ず [ナビ / テレビ切換] スイッチをテレビ側に合わせてください。
- ◎ ここで説明する内容は、主に使用するキー操作の一例です。説明以外の用途で使用する場合があります。



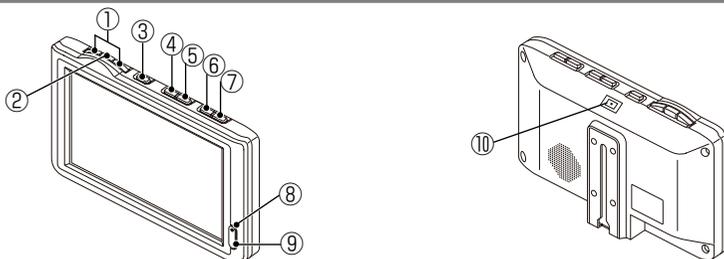
リモコンの操作方法

- リモコン信号送信部をディスプレイのリモコン信号受信部に向けて操作してください。リモコンにはテレビ操作において一部使用しないキーがあります。



ディスプレイについて

各部の名称と働き (ディスプレイ)



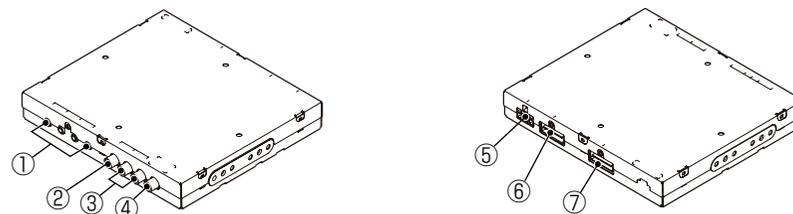
- ①アップ (↑)・ダウン (↓) ボタン
短く押すと手動で放送局を選局できます。(チャンネルアップ、ダウン)
長く押すと自動 (シーク) 選局を開始します。(チャンネルアップ、ダウン)
→「手動選局」(P22)
- ②実行 (ENT) ボタン
メニュー、システム設定の各項目の決定に使用します。
→「ディスプレイ側のボタンで操作するには」(P31)
- ③メニュー (MENU) ボタン
画質調整、システム設定メニューを呼び出します。
→「画質調整」(P27)、「システム設定」(P29)
- ④アスペクト (ASPT) ボタン (画面サイズボタン)
画面サイズを切り換えます。
(ノーマル/フル/ズーム/シネマ/ワイド)
→「画面サイズ (モード) を切り換える」(P25)
- ⑤オートサーチ (AUTO) ボタン
短く押すと自動 (オートサーチ) 選局した放送局を順次呼び出します。
長く押すと自動 (オートサーチ) 選局を開始します。
→「自動 (オートサーチ) 選局」(P22)
- ⑥テレビ (TV) 電源ボタン
テレビの電源を ON/OFF します。
- ⑦ナビゲーション (NAV) 電源ボタン
ナビゲーションの電源を ON/OFF します。
- ⑧パワーインジケータ
緑色: 電源 ON
オレンジ色: 電源 OFF
- ⑨リモコン信号受光部
リモコン信号を受信します。
- ⑩ディマーセンサー
周囲の明るさを検知し画面の明るさを自動的に調光します。

お知らせ

- ◎本システムではアスペクト (ASPT) ボタンにてナビゲーション画面のモードを切り換えることはできません。ただし VIDEO 入力信号で他社製ナビゲーションシステムなどを接続した場合は、切り換えることができます。
- ◎本機は周囲の明るさに応じて液晶画面を切り換える「オートディマー機能」と車両の照明に連動して明るさを切り換える「ILL 連動照明機能」を内蔵しています。
→「システム設定」(P29)
- ◎オートディマー機能は、周囲の明るさを感じて画面の明るさを 2 段階に切り換えます。周囲が明るい場合は、画面を見やすくするために画面を明るくします。また周囲が暗いと画面のまぶしさを低減させるため画面を暗くします。
(オートディマー機能はディマーセンサーが明るさを感じてから約 5 秒後に動作します。)

テレビチューナーについて

各部の名称と働き (テレビチューナー)



- ①アンテナ入力端子 (ミニジャック) (ANTENNA INPUT 1 ~ 4)
テレビアンテナ信号入力用ジャックです。
- ②映像入力端子 (ピンジャック) (VIDEO INPUT)
車載用 VTR 機器または後方監視カメラなどの映像信号入力用ジャックです。
- ③オーディオ入力端子 (ピンジャック) (AUDIO L/R INPUT)
車載用 VTR 機器などの音声信号入力用ジャックです。
- ④映像出力端子 (ピンジャック) (VIDEO OUT)
映像信号を常時出力します。(チャンネル表示等はできません)
- ⑤電源コード接続端子 (8P) (POWER SUPPLY)
付属の電源コードを接続します。
- ⑥専用ディスプレイ接続端子 (22P) (TO DISPLAY UNIT)
ディスプレイからの接続コードを接続します。
- ⑦ナビゲーションユニット接続端子 (22P) (TO NAVIGATION UNIT)
ナビゲーションユニットからの接続コードを接続します。

お知らせ

- ◎後部座席用ディスプレイ等をテレビチューナーの映像出力端子に接続している場合、テレビチューナーの電源が ON の状態では FM トランスミッターの出力はテレビ (ビデオ) 音声に固定されます。DVD ビデオなどの音声を FM トランスミッターで出力する場合はテレビチューナーの電源を OFF にしてください。(映像出力端子にピンプラグコードを接続した時点で FM トランスミッターの音声はテレビ (ビデオ) に固定されます。)

操作機能一覧

テレビ部

ドライビングリモコン

[方向 (▼)]キー	放送局呼び出し	P21
	長押：自動 (オートサーチ) 選局	P22
[方向 (◀▶)]キー	手動選局	P22
	長押：自動 (シーク) 選局	P22

リモコン

電源ボタン (TV電源)	テレビON/OFF (ナビ/テレビ切換スイッチ: テレビ)	P18,20
[モード]キー	FMTランスミッターの送信周波数設定	P19
	ディスプレイ内蔵スピーカーの出力設定	P19
[音量]レバー	ディスプレイ内蔵スピーカーのテレビ音量調整	P12
[モニター音量]キー	ナビの音声ガイドの調整	P20
[音声モニター]キー	MAIN (主音声)	P19
	SUB (副音声)	P19
	MAIN+SUB	P19
[テレビ/ビデオ]キー	テレビモード	P21
	ビデオモード	P21
[ch表示]キー	チャンネル表示	P21
ジョイスティック (実行ボタン)	メニュー、システム設定などの実行	
ジョイスティック (▲、▼) ボタン	手動選局	P22
	長押：自動 (シーク) 選局	P22
	メニュー、システム設定などの選択、調整	
ジョイスティック (オートサーチ) ボタン	放送局呼び出し	P21
	長押：自動 (オートサーチ) 選局	P22
テンキー	放送局の呼び出し (プリセットメモリー)	P22
	長押：放送局のプリセット	P22
[リレーション]キー	リレーション (ON/OFF)	P23
	長押：リレーション設定画面	P23
リレーション感度調整	オート	P23
	マニュアル	P23
[画面サイズ]キー	ノーマル	P25
	フル	P25
	ズーム	P25
	シネマ	P25
	ワイド	P25
[設定]キー	画質調整メニュー	P27
	明るさ	P27
	色の濃さ	P28
	色合い	P28
	コントラスト	P28
	長押：システム設定メニュー	P29
	オートディマ	P29
	ILL連動	P30
	画面モード (ナビゲーション)	P30

ディスプレイ

テレビ (TV) 電源ボタン	テレビのON/OFF	P14,18,19
ナビ (NAV) 電源ボタン	ナビゲーションのON/OFF	P14,18,19
◀、▶ ボタン	手動選局	P14,22,30
	長押：自動 (シーク) 選局	P14,22,30
	メニュー、システム設定などの選択、調整	
AUTOボタン	放送局呼び出し	P14,22
	長押：自動 (オートサーチ) 選局	P14,22
MENUボタン	メニュー画面	P14,26,30
	音量設定	P31
	画質調整	P31
	画面消し	P31
	長押：システム設定メニュー	P14
	オートディマ	P14,29
	ILL連動	P30
	画面モード	P30
ENTボタン	設定、調整項目の決定	P14,31

ナビゲーションの設定について

本機をナビゲーションに接続する際はナビゲーションを下記手順で設定してください。

- 1 ナビゲーションで「モード」→「機能設定」→「AVの設定」を選択します。
- 2 AVの音声をFMラジオで受信する場合は「AV音声出力先」を「FMトランスミッタ」に設定します。
(ディスプレイ内蔵のスピーカーから出力する場合は「専用モニター」を選択します。)
- 3 「モニタ選択」を「その他」に設定します。
詳しくはナビゲーション取扱説明書「機能の設定」をご参照ください。

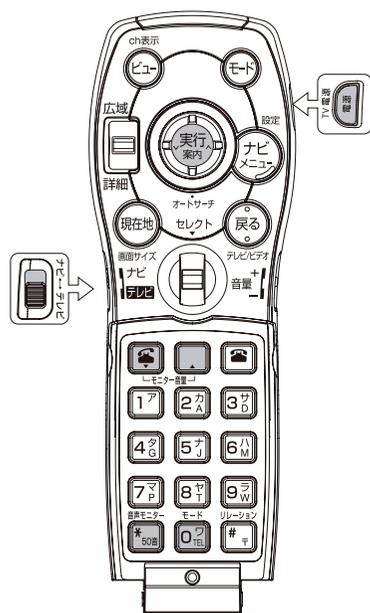
お知らせ

◎ナビゲーションを操作するときは[ナビ/テレビ切換]スイッチをナビ側に切り換えてください。

基本操作

本機の基本操作について

テレビの操作はおもにリモコンで行います。ご使用前に、ナビゲーションの設定、(→「ナビゲーションの設定について」(P17)) およびトランスミッター、音声出力、音声モードの設定をしてください。



電源の ON/OFF

- 1 車のエンジンをかけます。(パーキングブレーキはかけておいてください。)
- 2 [TV 電源] キーを押すとテレビの電源が ON になります。
- 3 [TV 電源] キーをもう一度押すとテレビの電源が OFF になります。

お知らせ

◎ディスプレイ側の操作ボタンでもテレビの電源の ON/OFF 操作ができます。→「ディスプレイについて」(P14)

トランスミッター、音声出力の設定

ご使用前に“FM TRANS”(FM トランスミッターの送信周波数)の設定と“SPEAKER”(ディスプレイ内蔵のスピーカー出力)の設定を行います。

- 1 [モード] キーを押すと設定モード画面が表示されます。
- 2 [モード] キーを押すごとに設定モードが次のように切り換わります。

“FM TRANS”(FM トランスミッターの送信周波数)

“SPEAKER”(ディスプレイ内蔵のスピーカー出力)

お知らせ

操作終了後、約 5 秒で元の画面に戻り設定が完了します。

[ナビ/テレビ切換]スイッチの切り換え

テレビ(ビデオ)を操作するときにはナビゲーションリモコンの[ナビ/テレビ切換]スイッチをテレビ側に切り換えます。

お知らせ

◎切換スイッチがナビ側になっているとテレビの操作ができません。

FM トランスミッターの送信周波数設定

テレビ音声をカーラジオ(FM)で受信する場合は、下記操作の前にカーラジオの電源を ON にして、FM ラジオ受信状態にしてください。受信周波数は FM トランスミッターの送信周波数に合わせてください。

- 1 [モード] キーを押して“FM TRANS”(FM トランスミッターの周波数)画面にします。
- 2 [ジョイスティック]の左右を押して送信周波数の設定をします。
送信周波数は 0.2MHz ステップで、76.0MHz ~ 79.0MHz およびトランスミッター OFF から選択します。(初期設定: 76.0MHz)

お知らせ

- ◎ FM 放送局との混信を避けるため、FM トランスミッターの送信周波数は、お使いの地域の放送局と近接(±0.3MHz 以内)しない周波数に設定する必要があります。下記の地域別推奨周波数を参考にして周波数を設定し、混信がおこらないことを確認してください。(もし混信が起こる場合は、他の周波数に切り換えてご使用ください。)
- ◎ AM 放送を受信する場合は、テレビチューナーの電源を必ず OFF にしてください。(音声にノイズが混入する場合があります。)
- ◎カーラジオ(カーステレオ)の FM トランスミッター受信周波数設定を自動選局で行う場合、上記で設定した周波数で止まらないことがあります。この場合は、マニュアル選局で周波数を合わせてください。

北海道地区	76.8MHz 77.6MHz 78.0MHz
東北地区	76.6MHz 78.6MHz
関東地区	76.8MHz 77.6MHz
中部地区	76.6MHz 77.4MHz
近畿地区	77.6MHz 78.0MHz
中国地区	76.2MHz 78.4MHz
四国地区	76.6MHz 76.8MHz
九州地区	76.2MHz 78.2MHz

ディスプレイ内蔵スピーカーの出力設定

テレビの音声をカーラジオ(FM)で出力せず、ディスプレイ内蔵のスピーカーから出力する場合に設定します。“SPEAKER”の画面で[ジョイスティック]の左右を押してスピーカー出力の ON/OFF を設定します。(初期設定: OFF)
テレビの音量調整(ディスプレイ内蔵スピーカーからの出力)は[音量]レバーで調整します。
→「リモコンキーの名称と働き」(P12)

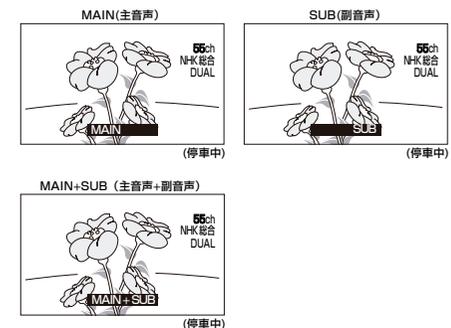
音声モードの切り換え

- 1 [音声モニター]キーを押すと音声モード画面が表示されます。
- 2 [音声モニター]キーを押すごとに設定モードが次のように切り換わります。



音声モードの表示例

操作終了後、約 5 秒で元の画面に戻り設定が完了します。



お知らせ

◎テレビ音声多重放送には、ステレオ放送と 2 重放送があります。

方式	聞こえる音	用途	
ステレオ放送	ステレオサウンド	音楽番組	
2重放送	MAIN(主音声)	日本語(ふきかえ)	外国映画や
	SUB(副音声)	外国語(原語)	ニュースなど
多重放送	MAIN(主音声)	テレビ画面の音声	プロ野球の応援合戦
	SUB(副音声)	もう一つの音声	やカラオケなど

◎ステレオ放送時は、画面右上に“STEREO”と表示され 2 重放送時は、“DUAL”と表示されます。

ナビゲーションからテレビに切り換える

- 1 ナビの電源を OFF にします。
※ リモコンの [ナビ/テレビ切換] スイッチをナビ側にして、[電源] キーを押すか、ディスプレイのナビゲーション (NAV) 電源ボタンを押してください。
- 2 テレビの電源を ON にします。
※ リモコンの [ナビ/テレビ切換] スイッチをテレビ側にして、[電源] キーを押すか、ディスプレイのテレビ (TV) 電源ボタンを押してください。

お知らせ

- ◎画面表示はナビゲーション画面が優先となります。ナビゲーションの電源が ON のままではテレビの画面に切り換わりません。テレビを見るにはナビゲーションの電源を OFF にしてください。
- ◎ナビゲーションの電源が ON のままテレビの電源を ON にすると音声のみテレビに切り換わります。

テレビ画面からナビゲーション画面に切り換える

- 1 ナビの電源を ON にします。
※ リモコンの [ナビ/テレビ切換] スイッチをナビ側にして、[電源] キーを押すか、ディスプレイのナビゲーション (NAV) 電源ボタンを押してください。

お知らせ

- ◎テレビの電源が ON のまま、ナビゲーションに切り換えるとテレビの音声が出力されたままナビゲーション画面に切り換わります。

テレビ、ナビの音声、画面切換表

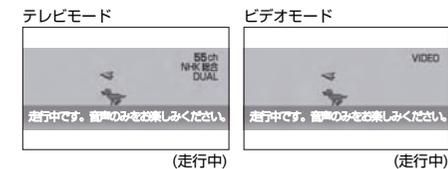
		テレビの電源	
		ON	OFF
ナビの電源	ON	音声：テレビ (ビデオ)	音声：-
		画面：ナビ	画面：ナビ
	OFF	音声：テレビ (ビデオ)	音声：-
		画面：テレビ (ビデオ)	画面：-

ナビゲーションの音声ガイドについて

ナビゲーションの音声ガイドは、ディスプレイの内蔵スピーカーより出力されます。音声調整は [モニター音量] キー (▼、▲) でも調整できます。

テレビ/ビデオを見る

テレビを見るには



チャンネルを表示する

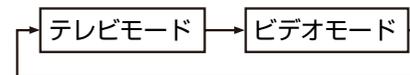
- 1 [ch 表示] キーを押すと画面右上に、チャンネル番号と放送局名が表示されます。
- 2 [ch 表示] キーをもう一度押すと、画面表示は解除されます。

お知らせ

- ◎受信状態が悪い (電波が弱い) ときは、放送局が表示されないことがあります。
- ◎テレビモードでは、画面右上にチャンネル表示が約 5 秒間表示されます。ビデオモードでは、画面右上に "VIDEO" が表示されます。(表示を消したい場合は、[ch 表示] キーを押します。)
- ◎ビデオ信号が入力されていないと、"VIDEO" は表示したままとなります。

テレビ/ビデオモードの切り換え

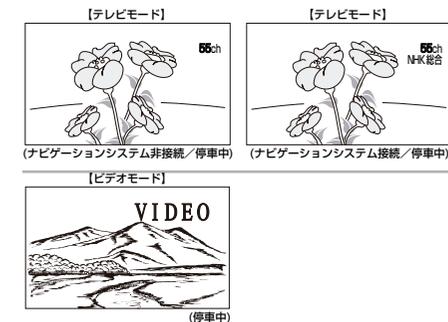
[テレビ/ビデオ] キーを押すごとにモード画面が次のように切り換わります。



- ◎テレビモード・・・テレビ放送を表示します。
- ◎ビデオモード・・・車載用ビデオ機器等を接続時にビデオ映像を表示します。

お知らせ

- ◎本機では、安全のため、走行中テレビ、ビデオ映像は表示されません。テレビやビデオ映像を見る時は、車を安全な場所に停車させてください。



選局のしかた

手動選局

◎[ジョイスティック] を右または左に倒すと、1チャンネルずつ上がるまたは下がります。

手動選局

受信チャンネルが表示されます。



(停車中)



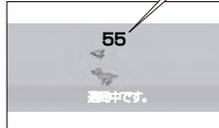
ドラコンで操作する場合は[方向(◀▶)]または[▶▶]キーを押します。

自動(シーク)選局

◎[ジョイスティック] を右または左方向にしばらく倒し続けると、チャンネルが自動的に上がる、または下がり放送局があるところで自動的に止まります。

自動(シーク)選局

受信チャンネルが表示されます。



(停車中)



ドラコンで操作する場合は[方向(◀▶)]または[▶▶]キーをしばらく押します。

プリセットメモリー

1 手動選局または、自動(シーク)選局でメモリーしたい放送局を選局します。

2 [テンキー(1~9)]のいずれかをしばらく押し続けると、そのボタンに選局したい放送局がメモリーされます。(プリセットメモリーは、9局まで可能です。)

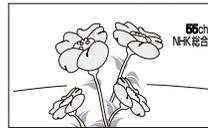
お知らせ

◎すでにメモリーされているボタンにもう一度メモリーすると、前にメモリーされた放送局は取り消されます。

プリセット選局

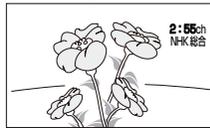
◎[テンキー(1~9)]でメモリーされている放送局を選局します。(あらかじめプリセットメモリーで放送局をメモリーしてください。)

プリセット選局(選局時)



(停車中)

プリセット選局(ボタン2にメモリー後)



(停車中)

自動(オートサーチ)選局

◎[ジョイスティック] を下方向にしばらく倒し続けると、自動的に受信可能な放送局を選局していきます。(最大10局)

◎[ジョイスティック] を下方向に倒すと、選局した放送局を順次呼び出すことができます。操作終了後、約5秒で表示が消えます。



ドラコンで操作する場合は[方向(▼)]キーを押す、またはしばらく押し続けます。

お知らせ

- ◎オートサーチでは、プリセットメモリーとは別の放送局がメモリーできます。
- ◎受信可能な放送局が10局よりも少ない場合は、受信可能な放送局だけメモリーされます。
- ◎受信可能な放送局名が画面に表示されるのは付属のナビゲーションユニットを接続している場合のみです。

自動(オートサーチ)選局(検索中)

受信可能なチャンネルが表示されます。

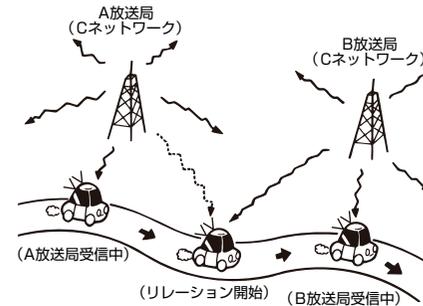
受信オートサーチ時、局をメモリーすることに犬がフライングディスクをキャッチします。

放送局名が表示されます。(当社製ナビゲーションユニット接続時のみ)

リレーション機能と操作のしかた

リレーション(同放送局自動追尾)機能とは

テレビ放送受信中に受信している放送局のサービスエリアから離れ、受信状態が悪く(電波が弱く)なったとき、受信中の放送局と同一ネットワーク内の受信可能な放送局を検索し、受信している放送局のチャンネルを自動的に切り換えることにより継続して同じ番組を受信することができる機能です。



- ◎本機と付属のナビゲーションユニットを接続することにより、現在受信している放送局と同じ系列の放送局を地域毎に検索することができます。
- ◎全国ネット放送以外のテレビ番組(ローカル番組)を受信している場合、同一番組を受信することはできません。(受信している放送局が切り換わると番組が異なります。)
- ◎山間部、高層ビル街など電波状態が悪い地域では、リレーション機能が正常に動作しない場合があります。
- ◎受信中の放送局と同一のネットワーク内の放送局においても、時間帯などにより同一放送内容ではない場合があります。
- ◎一部の地域では正確なリレーションおよび放送局名表示ができない場合があります。
- ◎放送局のチャンネル番号とサービスエリアの情報は、本機開発時点のものです。新しく開局した放送局については、対応できません。

リレーション機能で選局する

リレーションの設定

[リレーション]キーを押してリレーションのON/OFFを設定します。(リレーションをONに設定すると「R」が表示されます。)



テレビモード (停車中)

リレーションモードの設定

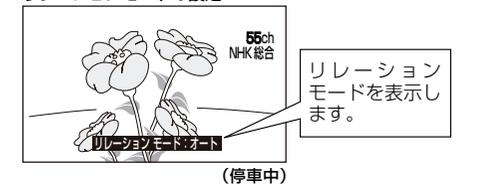
1 [リレーション]キーをしばらく押し続け、リレーションの詳細設定画面を表示します。

2 [ジョイスティック]の左右を押し「オート」または「マニュアル」を選びます。

「オート」⇔ 受信中のテレビ放送の受信状態が悪くなったとき、自動的にリレーション機能が動き受信チャンネルに切り換わります。

「マニュアル」⇔ マニュアルを選択すると約5秒後に画面が切り換わり、リレーション動作が始まります。

リレーションモードの設定

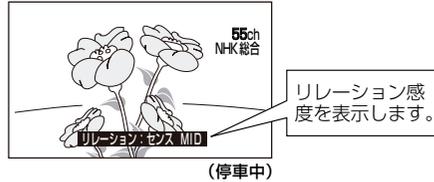


(停車中)

リレーシヨンの感度設定

- 1 [リレーシヨ] キーをしばらく押し続け、リレーシヨ感度設定画面を表示させます。
- 2 [リレーシヨ] キーを再度押します。
- 3 [ジョイスティック] の左右を押し "LOW" "MID" "HIGH" の中から使用状況に合った感度を選びます。

リレーシヨの感度設定



- "LOW" ⇨ 受信中の電波が非常に弱くなり受信不可能になると、リレーシヨ動作を開始します。
- "MID" ⇨ LOW と HIGH の中間の条件でリレーシヨ動作を開始します。
- "HIGH" ⇨ 受信中の電波が少し弱くなると、リレーシヨ動作を開始します。

お知らせ

- ◎リレーシヨの設定で "マニュアル" を選ぶとリレーシヨの感度設定画面は表示されません。約 5 秒で元の画面に戻り設定が完了します。

リレーシヨの動作と表示

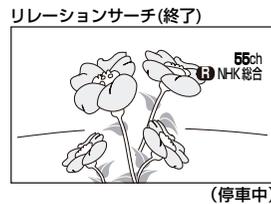
- ・リレーシヨの動作が開始されると、リレーシヨサーチ (開始) 画面が表示されます。



- ・受信中の放送局と同一ネットワーク内の受信可能な放送局を検索し、そのチャンネル番号と放送局名を順次表示します。

- ・受信可能な放送局の中で最も受信状態の良い放送局を選択し、そのチャンネル番号と放送局名を表示します。

- ・その放送局の映像を表示します。



お知らせ

- ◎リレーシヨ動作中、受信可能な放送局が見つからない場合は、待機状態となりリレーシヨサーチ画面が表示されたままになります。
- ◎リレーシヨ待機中、受信可能な放送局が見つかるまで検索を繰り返します。(リレーシヨ待機中は、テレビ音声は出力されません。)
- ◎リレーシヨ待機状態を解除するには、[ジョイスティック] で選局を行ってください。

ビデオ映像を見る

お知らせ

- ◎画面表示はナビゲーション映像が優先となります。ビデオ映像を見る際には、ナビゲーションユニットの電源を OFF にしてください。
- ◎コピーガード付きビデオテープをご使用の場合、"VIDEO" の表示位置 (画面右上) が正規表示位置に表示されないことがあります。
- ◎映像入力端子に映像入力信号が入力されると "VIDEO" の表示は消えます。

映像モードの切り換え

[テレビ / ビデオ] キーを押しビデオモードに切り換えます。

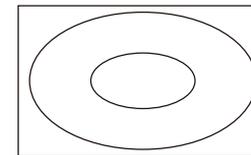
画面サイズを切り換える

本機は 5 種類の画面モードを用意しています。映像の内容により画面モードを適宜切り換えてご使用ください (テレビ / ビデオ)。

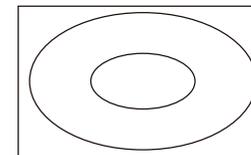
画面サイズ (モード) の切り換え

[画面サイズ] キーを押ごとに画面サイズが切り換わります。

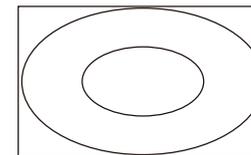
< ノーマル >
通常画面の映像 (横縦比 4:3) を表示します。



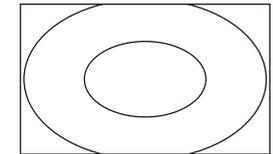
< フル >
通常の映像を画面全体に拡大して表示します。



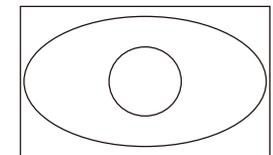
< ズーム >
通常の映像を画面全体に (上下左右に) 拡大して表示します。但し、映像の上下が欠ける場合があります。



< シネマ >
字幕入りの映像を画面全体に見やすく拡大して表示します。



< ワイド >
画面の中心部より横方向に徐々に拡大して画面幅全体に表示します。



< ノーマル > 画面に戻ります。

お知らせ

- ◎テレビ番組や DVD ビデオなどの映像ソフトと映像比率の異なるモードを選択しますと、オリジナルの映像と違った見え方となりますが、これは画面を拡大しているためで故障ではありません。また DVD ビデオのメニューなど画像の一部が欠けた状態で表示される場合があります。この点をご注意の上、画面サイズを選択してください。
- ◎本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として使用する場合、画面サイズの切り換え機能により画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと著作権上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

その他の機能

後部座席用映像出力について

- テレビチューナー部の映像出力端子に、後部座席用のディスプレイを接続すると、後部座席でも映像を楽しむことができます。
- 各機器の接続については、取付要領書を参照してください。

後席映像	前席映像	ナビゲーション電源	テレビチューナー電源
DVD画面*	←	ON	ON または OFF
	ナビゲーション画面**	ON	OFF
TV または VIDEO画面**	←	OFF	ON
	ナビゲーション画面**	ON	ON
ナビゲーション画面	←	ON	OFF
OFF	OFF	OFF	OFF

(※) 走行中、前席ディスプレイに映像は表示されません。(映像制限画面となります。)
 (※※) CD/MP3/ミュージックフォルダ/JAVAアプリ等の画像を含みます。

バックカメラ (後方監視カメラ) の映像について

- 車両のシフトレバーをリバース (R) に入れてください。本機は、車両のリバース (R) 信号を検知し、ナビゲーションまたはテレビの電源の ON/OFF に関係なくバックカメラの映像を表示します。
 - テレビチューナーのリバース (R) 信号線は、バックカメラを接続するときのみ車両のリバース (R) 信号に接続して下さい。
- ※バックカメラを接続しない状態でテレビチューナーのリバース (R) 信号線を車両のリバース (R) 信号線に接続すると誤動作の原因となります。
 詳しくは取付要領書をご参照ください。

画質調整

画質(明るさ / 色の濃さ / 色合い / コントラスト)を調整する



明るさの調整

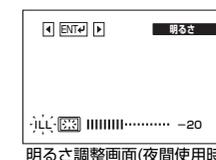
- 1 [ジョイスティック] の左右で見やすい明るさに調整し、[ジョイスティック] を押して決定します。



夜間使用時の明るさ設定

システム設定でILL連動を設定している場合は、夜間使用時の明るさを設定できます。
 →「システム設定について」(P29)
 明るさ設定画面表示中に車幅灯または前照灯を点灯させると夜間使用時の調整画面に切り換えることができます。

- 1 [ジョイスティック] の左右で見やすい明るさに調整し、[ジョイスティック] を押して決定します。

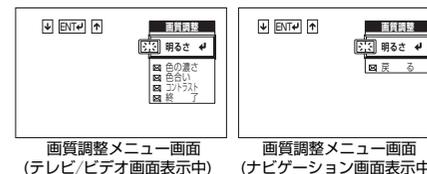


画質調整について

- 1 [設定] キーを押して、画質調整画面を表示します。
- 2 [ジョイスティック] の左右で調整する項目を選択し[ジョイスティック] を押して決定します。
 ▶それぞれの調整画面が表示されます。

お知らせ

◎ナビゲーション画面表示中に [設定] キーを押すと画質調整メニューに「明るさ」のみが表示されます。それ以外の項目は表示されず調整できません。



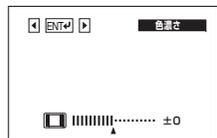
- 3 選択した項目の設定を行います。
 設定が完了すると画質調整画面に戻ります。

お知らせ

◎画質調整中、一定期間 (約 7 ~ 10 秒) 操作を行わないでいると、自動的に通常画面に戻ります。再度調整が必要な場合は、1 からやり直してください。

色の濃さの調整

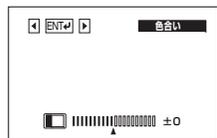
- 1 [ジョイスティック] の左右で好みの濃さに調整し、[ジョイスティック] を押して決定します。



色の濃さ調整画面

色合いの調整

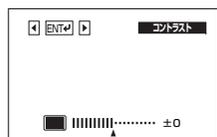
- 1 [ジョイスティック] の左右で好みの色合いに調整し、[ジョイスティック] を押して決定します。



色合い調整画面

コントラスト調整

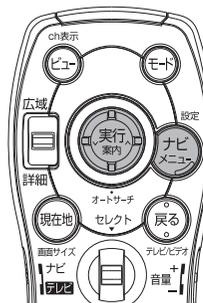
- 1 [ジョイスティック] の左右で見やすいように画像のメリハリを調整し、[ジョイスティック] を押して決定します。



コントラスト調整画面

システム設定

照明やナビゲーションの画面モードを設定する

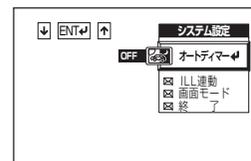


システム設定について

■本機の下記機能を設定できます。

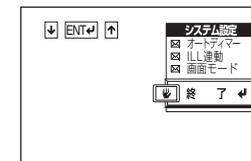
- ◎オートディマー機能
“ON” に設定すると、周囲の明るさに応じてディスプレイの明るさを自動的に調整します。
- ◎ILL 連動照明機能
“連動” に設定すると、車両のイルミネーションに連動してディスプレイの明るさを変更させることができます。
- ◎画面モード
ナビゲーション画像の表示をフル(画面全体)またはノーマル(4:3)に切り換えます。

- 1 [設定] キーをしばらく押し続けて、システム設定画面を呼び出します。



システム設定画面

- 2 [ジョイスティック] の左右で設定する項目を選択し [ジョイスティック] を押して決定します。
- 3 各項目を設定後システム設定画面に戻ります。 [ジョイスティック] の左右で “終了” を選択し、[ジョイスティック] を押します。



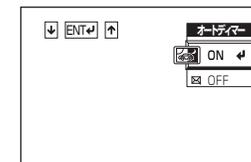
設定終了画面

お知らせ

- ◎システム設定中、一定期間(約7~10秒)操作を行わないでいると、自動的に通常画面に戻ります。再度調整が必要な場合は、1 からやり直してください。

オートディマーの設定

- 1 [ジョイスティック] の左右で “ON” または “OFF” を選択し [ジョイスティック] を押して決定します。



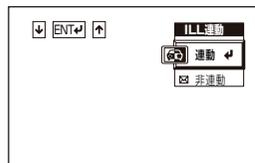
オートディマー設定画面

お知らせ

- ◎ “ON” に設定した場合、画質調整メニューの明るさ調整ができなくなります。
→ 「明るさの調整」(P27)
また ILL 連動機能も調整できなくなります。
→ 「ILL 連動照明の設定」(P30)

ILL 連動照明の設定

- [ジョイスティック] の左右で“連動”または“非連動”を選択し [ジョイスティック] を押して決定します。



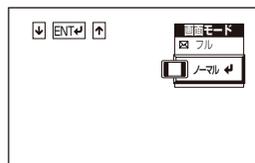
ILL連動設定画面

お知らせ

- ◎ “連動” に設定した場合、画質調整メニューの明るさ調整において、昼間使用時の明るさと夜間使用時の明るさを個別に設定できます。
- ◎ ILL 連動機能を使用するには本機の ILL (イルミネーション) 電源端子を正しく配線しておく必要があります。

画面モードの設定 (ナビゲーション)

- [ジョイスティック] の左右で“フル”または“ノーマル”を選択し [ジョイスティック] を押して決定します。



画面モード設定画面

お知らせ

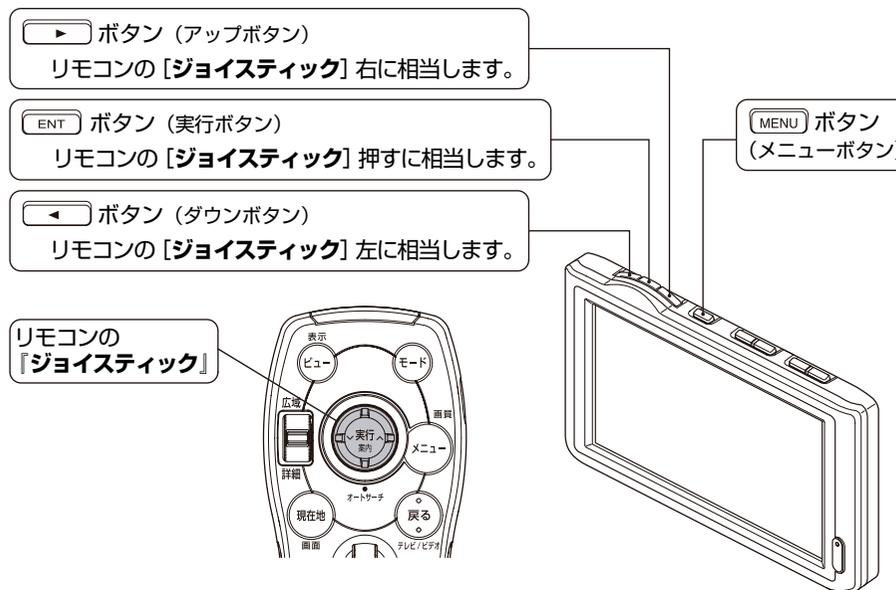
- ◎ 本ナビゲーションシステムは、ワイド画面用です。ナビゲーション画面で画面モードの設定をノーマルモードで使用すると表示の尺度が狂いますのでご注意ください。

ディスプレイの操作

ディスプレイ側のボタンで操作するには

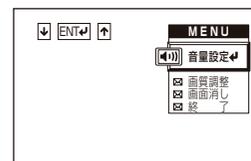
- ディスプレイの設定や調整の一部を天面のボタンで行うことができます。

(MENU) ボタン (メニューボタン)	“メニュー画面” を呼び出します。しばらく押し続けると“システム設定画面” を呼び出します。
◀ • ▶ ボタン (ダウンボタン, アップボタン)	各画面での項目の選択や調整に使用します。通常画面(テレビ放送表示時)では受信チャンネルの選局に使用します。
ENT ボタン (実行ボタン)	各画面での項目や調整の決定に使用します。



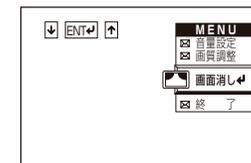
画面消しについて

- 1 メニューボタンを押し、メニュー画面を表示させます。



メニュー画面

- 2 アップボタンまたはダウンボタンで画面消しを選択し、実行ボタンを押すと画面が消えます。(再度表示させたい場合は、ディスプレイ天面のいずれかのボタンを押します。)



画面消し設定画面

お知らせ

- ◎ 画面消しはディスプレイのボタンのみで使用可能です。(リモコン操作では設定できません。)
- ◎ 音量調整はディスプレイ側のボタンでの操作のほかリモコンの [モニター音量] キーでも操作できます。
→ 「リモコンキーの名称と働き」(P12)

困ったときは

故障かな？と思ったら

■ちょっとした操作ミスや配線間違いで、故障と勘違いすることがあります。修理を依頼される前に下記のようなチェックを行ってください。

	症状	原因	処置	参照ページ
接続時	電源が入らない	電源コードまたは接続コードの接続不良 車のバッテリーがあがっている	説明書に従い正しく配線してください バッテリーを確認してください	(※1) —
	受信できない	アンテナコードの接続不良	説明書に従い正しく配線してください	(※1)
テレビ操作時	映りが悪い。雑音が出る	放送局の周波数が合っていない	正しいチャンネルに合わせてください	21,22
	自動選局ボタンを押しても選局しない	山間部、高層ビル街などで電波状態が悪く受信できない	正常に電波が受信できる場所に車を移動してください	—
	画像にはん点やしま模様ができる	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車からの影響 他の搭載機器から妨害電波を受けている	おたかひの配線をなるべく離してください	—
	画像が二重三重になる	近くの山やビルで電波が反射している	アンテナの位置、方向、高さを調整してください。または、他の場所に車を移動してください	—
	画像に色がつかない	白黒の番組を受信している	他の番組に切り換えて確認してください	21,22
	画像が不鮮明	電波が弱いまたは、受信中の放送局のエリアから外れている		
	画像が出ない	テレビモードになっていない	テレビモードに切り換えてください	21
	雑音が入る	FMトランスミッターのアンテナコードの配線が適切でなくFMの電波が弱くなっている。	FMトランスミッターのアンテナコードをできるだけ伸ばす等、配線を見直してください。	—
	音が悪い（歪む）	FM放送局と混信している	FMトランスミッターの周波数にあわせてください。	18,19
	音が出ない	ラジオの周波数と本機設定周波数が合っていない		
ナビ操作時	アスペクトボタンで画面モードが切り換わらない	故障ではありません	ナビゲーション画面のサイズは変更できません。	—
	音声ガイドが出ない	音量が最小になっている	音量を適度に上げてください	20

(※1) 別冊“取付要領書”を参照してください。

	症状	原因	処置	参照ページ
ナビ操作時	FMトランスミッター使用時ナビゲーションのAV音声に雑音が入る	ナビのAV音量が小さい	ナビのAV音量を適度に上げてください。	—
共通操作時	色が明るいまたは、暗い	車内の温度が低い	ヒーターで車内の温度を上げてください	—
	色や色合いが悪い	明るさの調整が不適当	見やすい画質に調整してください	27,28
共通操作時	画像が出ない	ディスプレイの電源が入っていない	ディスプレイの電源を入れてください	12 14,18
リレーション操作時	動作しない	リレーションの設定不良	説明書に従い正しく設定してください	23,24
		接続コードの接続不良	説明書に従い正しく接続してください	(※1)
リレーション操作時	受信できない	山間部、高層ビル街などで電波状態が悪く受信できない	正常に電波が受信できる場所に車を移動してください	—
	放送局名が表示されない	新しく開局した放送局である 周波数が変更された放送局である	故障ではありません	23
リモコン操作時	受信していた放送局と異なった番組に切り換わる	受信していた番組がローカル番組である		
	リモコン、ドラコンが働かない	リモコンの[ナビ/テレビ切換]スイッチがナビ側になっている。(リモコン)	[ナビ/テレビ切換]スイッチをテレビ側に切り換える	18
		電池が入っていない	電池を入れてください	
		電池の入れかたが間違っている	正しく電池を入れ直してください	
		電池が消耗している	新しい電池と交換してください	
		リモコン信号受光部に向けて操作していない	正しく操作してください	10
		リモコン信号受光部または、リモコン信号送信部が汚れている	清掃してください	
	リモコン信号受光部に直射日光が当たっている	直射日光をささぎってください	—	
	ドラコンの取付位置が適切でない	取付位置を調整してください	—	

(※1) 別冊“取付要領書”を参照してください。

定格

■本機の仕様および外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

ディスプレイ部	種類	液晶カラーディスプレイ	
	画面サイズ	対角18cm	
	画素数	112,320画素(水平480×垂直234)	
	副画素数	336,960画素(水平1440×垂直234)	
	画素ピッチ	水平0.321mm×垂直0.372mm	
	視野範囲	(コントラスト比≥10) 標準値 左/右: 85/85 (deg) 上/下: 85/85 (deg)	
	液晶	透過型IPS方式フルカラー液晶パネル	
	駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式	
	副画素色配列	RGBストライプ配列	
	バックライト	冷陰極管エッジライト方式	
	表面処理	AG+LRコート	
	入力端子	映像入力レベル	RGB信号入力(アナログ方式) 0.714Vp-p/75Ω(22P専用コネクター内) VIDEO信号入力(コンポジット方式) 1Vp-p/75Ω(22P専用コネクター内)
			オーディオ入力レベル
	画質調整	RGB信号入力時 明るさのみ VIDEO信号入力時 明るさ/色の濃さ/色合い/コントラスト	
	使用温度範囲	0℃~+55℃	
	最大消費電流	約1.2A	
	外形寸法	197(幅)×120(高さ)×35(奥行き) mm	
電源電圧	DC12V(テレビチューナーより供給)		
質量	約440g		

テレビチューナー部	種類	TVチューナー
	回路方式	PLLシンセサイザー
	受信方式	NTSCカラー方式
	受信チャンネル	VHF: 1~12チャンネル
		UHF: 13~62チャンネル
	アンテナインピーダンス	75Ω不平衡
	映像入力レベル	1Vp-p/75Ω(ピンジャック部)
	映像出力レベル	1Vp-p/75Ω(ピンジャック部)
	オーディオ入力レベル	1Vp-p/47kΩ(ピンジャック部)
	使用温度範囲	0℃~+55℃
	最大消費電流	約0.8A(ディスプレイ供給分を除く)
外形寸法	178(幅)×25(高さ)×159(奥行き) mm	
電源電圧	DC12V(10.8~15.6V使用可)	
質量	約610g	

テレビアンテナ	受信チャンネル	VHF: 1~12ch UHF: 13~62ch
	インピーダンス	75Ω不平衡
	接続端子	φ3.5mm L型ミニプラグ
	コード長	6m
	外形寸法	30(幅)×28(高さ)×201.7(奥行き) mm
	質量	約500g(両側本体のみ、ケーブル含む)

用語索引

本用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードのみを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

ILL 連動照明.....	14, 28, 30	ジョイスティック.....	13, 22, 23
アスペクト.....	14	ズーム.....	25
アップ/ダウンボタン.....	31	SPEAKER.....	18
FMトランスミッター.....	18, 19	多重放送.....	19
FM TRANS.....	18	ch 表示.....	21
オートサーチ.....	11, 14	TV 電源ボタン.....	12, 18
オートディマー.....	14, 29	ドラコン(ドライビングリモコン)...	10, 11
音声ガイド.....	19	テンキー.....	13, 22
音声多重放送.....	19	ナビ/テレビ切換スイッチ.....	12, 18, 20
音声モード.....	19	ナビゲーションの設定.....	17
音声モニターキー.....	13	2ヶ国語放送.....	19
音声出力設定.....	18	ノーマル.....	25
音量レバー.....	12	バックカメラ(後方監視カメラ).....	26
画質調整.....	27	プリセット選局.....	22
画面消し.....	31	プリセットメモリー.....	22
画面サイズ.....	13, 25	フル.....	25
画面モード.....	29, 30	方向キー.....	11, 22
後部座席用映像出力.....	26	メニュー(MENU) ボタン.....	14, 31
コントラスト.....	27, 28	モードキー.....	13
システム設定.....	29	モードボタン.....	13, 18
実行(ENT) ボタン.....	14, 31	モニター音量キー.....	13
自動(オートサーチ) 選局.....	11, 22	リレーション(同放送自動追尾).....	23
自動(シーク) 選局.....	11, 23	リレーションキー.....	13, 23
シネマ.....	25	リレーションモード.....	23
手動選局.....	11, 22	ワイド.....	25

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入<販売店印><お買い上げ日>および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管ください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- 保証期間中の修理は →保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は →修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- なお当社はナビゲーションシステム関連機器の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後6年間保有しています。
- アフターサービス(修理や付属品のご購入)に関するお問い合わせは、お買い上げ店、別紙の地区別サービス店ならびに代理店相談窓口へご相談ください。

お問い合わせ先 **三菱電機カーインフォメーションセンター**

フリーダイヤル **0120-182710** (土・日・祝祭日は除く/9:00~17:30)

※当社カーナビの機能や操作に関することなら何でもお問い合わせください。

※カタログの送付希望も受け付けております。